

# 一期一会

都立富高等学校附属中

服部 有柳

私は平成三十年七月

二月(月)に虎ノ

門ビルズで開かれた

東京2020NIPPONフ

エステイバルのコン

セプト・マーク・概

要を公表する会見に

参加してきました。

この会見には、文化

・教育委員会委員長

の青柳正規さん、ア

ーティスト・マーク

## 会見に行ってきた!

制作者の野老朝雄さ

ん、東京のと組織委

員会副事務総長の古

宮正章さんの三名が

登壇しました。会見

の後、野老さんにオ

リンピック・パラリ

ンピックエンブレム

やNIPPONフェステイ

バルのマークについ

てのお話も特別に聞

くことができました。

## 東京2020NIPPONフェスティバルとは?

東京2020NIPPONフェスティバルは、世界の注目日本・東京に集ま

る二〇二〇年四月頃から九月頃にかけて実施する東京2020大会の公式

文化プログラムのことです。日本が誇る伝統文化を国内外に強く発信す

るとともに、共生社会の実現を目指して多様な人々の参加や交流を生み

出すことや、文化・芸術活動を通して多くの人が東京2020大会へ参

加できる機会をつくり、大会に向けて期待感を高めることが目的とされ

ています。

東京2020NIPPON

フェスティバルを

開催することによ

り、日本が安全で

清潔な社会であり

、東西の文化を咀

嚼し理解して互

として世界全体の

架け橋となれるの

ではないかと外国

の人々に思っても

らいたいと青柳さ

んはお話していま

した。

オリンピック・パラリンピックエンブレム

東京2020NIPPONフェスティバルに望むもの

## 編集後記

今回、私は初めて会見に参加しました。本物の記者の方がたくさんいてとても緊張した空間でしたが、誰もが体験できることではないのでとても貴重な時間となりました。初めての会見でしたが、学生ならではの視点で参加できたので良かったです。そして、個人的にはコシノジュンコさんに会ってお話を聞いたのバとも感動的でした!!

マークに込められた想い

「オリンピック・パラリンピックのエンブレムや東京2020NIPPONフェスティバルのマーク

を見ることで東京2020大会のことを100年後に

思い出してほし」と話した野老さん。現代の

人にはマークを見ることで「2020来るな」「

2020あったな」と時代の記録として残ってい

ってほしいという思いが込められているそうです。

東京2020NIPPONフェスティバルのマー

クはオリンピック・パラリンピックエンブレム

とは対照的に、楽しいが今にも動き出しそうは

マークということを念頭に制作され、マークが

動く映像の制作も検討中だということだ。マ

ークが気になる人は、ぜひインターネットが調

べてみてください。